

平成19年度 決算報告書

国立大学法人 宮城教育大学

(単位：百万円)

区 分	予 算 額	決 算 額	差 額 (決算 - 予算)	備 考
収入				
運営費交付金	2,922	2,922	0	
施設整備費補助金	620	649	29	(注1)
補助金等収入	20	47	27	(注2)
国立学校財務・経営センター施設費交付金	22	22	-	
自己収入	1,029	1,076	47	
授業料、入学料及び検定料収入	1,010	1,037	27	(注3)
財産処分収入	1	24	23	(注4)
雑収入	18	16	2	(注5)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	45	88	43	(注6)
目的積立金取崩	-	18	18	(注7)
計	4,658	4,822	164	
支出				
業務費	2,925	2,892	33	
教育研究経費	2,925	2,892	33	(注8)
一般管理費	1,026	984	42	(注9)
施設整備費	642	671	29	(注10)
補助金等	20	47	27	(注11)
産学連携等研究経費及び寄付金事業費等	45	88	43	(注12)
国立学校財務・経営センター施設費納付金	-	3	3	(注13)
計	4,658	4,684	26	
収入 - 支出	-	138	138	

予算と決算の差異について

- (注1) 施設整備補助金収入については、平成19年度施設整備補助金による交付額が増加したことから予算金額に比して決算金額が29百万円多額となっています。
- (注2) 補助金等収入については、大学改革推進等補助金が採択されたため、予算金額に比して決算金額が27百万円多額となっています。
- (注3) 授業料及び入学金及び検定料収入については、当初の見込よりも学生数が増加したことから、予算金額に比して決算金額が27百万円多額となっています。
- (注4) 財産処分収入については、予定額以上での売却が行われたため、予算金額に比して決算金額が23百万円多額となっています。
- (注5) 雑収入については、主に入試センター試験実施経費収入が当初見込よりも少なかったことから、予算金額に比して決算金額が2百万円少額となっています。
- (注6) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、受託事業等の受け入れに努めたため、予算金額に比して決算金額が43百万円多額となっています。
- (注7) 目的積立金取崩については、予算段階で予定していなかった教育研究環境等整備のために取崩しを行ったため、予算金額に比して決算金額が18百万円多額となっております。
- (注8) 教育研究経費については、退職手当の支給額が見込よりも少なかったことから、予算金額に比して決算金額が33百万円少額となっています。
- (注9) 一般管理費については、職員人件費の支給額が見込よりも少なかったことから、予算金額に比して決算金額が42百万円少額となっています。
- (注10) 注1に示した理由等により、予算金額に比して決算金額が29百万円多額となっています。
- (注11) 注2に示した理由により、予算金額に比して決算金額が27百万円多額となっています。
- (注12) 注6に示した理由により、予算金額に比して決算金額が43百万円多額となっています。
- (注13) 注4の財産処分収入のうち、国立大学財務・経営センターへの施設費納付金として3百万円多額となっています。